



ご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り心から感謝申し上げます。

昨年1月に国内最初の新型コロナ感染症例が報告されてから1年が経過しようとしています。感染被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、感染拡大防止にご尽力頂いている医療関係者をはじめとした多くの皆さまに心から感謝申し上げます。収束に向けてまだ先が見えにくい

状況です。引き続き私たち個人でできる感染防止対策をしっかりと取って頂きますようお願い申し上げます。一方で社会経済活動もしっかりと回さなければなりません。神戸市においてもうまく両立できる環境づくりに努めてまいります。神戸市会に送り出して頂いてから1年半が経過致しました。6月には本会議で2度目の一般質問の機会を頂き、コロナ禍における神戸市の取り組みなどについて質疑致しました。11月には決算特別委員会が開かれ、交通局と都市局の局別審査を担当致しました。今回は局別審査の一部と、厚労省が発表している「感染リスクが高まる5つの場面」と「感染した時には」「身近に感染者が出た時には」を報告させていただきます。ご参考になさって下さい。本年も皆さまにとりまして素晴らしいお年となりますようお祈り申し上げます。

新型コロナ対策第4弾を含む補正予算成立!

11月議会に提出された一般会計の補正予算60億9,100万円を含む各議案を可決致しました。主なものとして「**老人ホームや障害者施設の介護職員へのPCR検査実施**」に**2億9,200万円**(クラスターの防止と医療体制の安定に繋がられるよう希望した約5,900人に実施されます)、「**ひとり親家庭への経済的支援**」に**3億2,500万円**(神戸市独自の施策として1世帯2万円、第2子以降1人につき1万円加算されます)、「**学校のトイレ洋式化改修**」に**43億3,000万円**(今回の補正で神戸市の全小中学校・特別支援学校の洋式化目標達成)などがございます!



本会議の映像は、
神戸市会のHPでご覧頂けます。

神戸市会ホームページ

☑ スマホのカメラからQRコードを読み込んで表示
🌐 www.kensakusystem.jp/kobeshikai/



交通局

新たな安定収入の確保策を!

令和2年度は新型コロナの影響で自動車会計で約16億円、高速鉄道会計で約41億円の減収が見込まれています。テレワークの推進などもあり経営の見通しは厳しいものがあります。そこで東急電鉄が企画した定額制サービス「東急線・東急バス サブスクパス」を例に、安定収入の確保策を提言させていただきました。交通局は企業の経済性と公共の福祉を両立させなければなりません。市民の足を守るためにも「しっかりと利益を生み出す」という視点が必要です!



交通局

市バス運転士の年齢要件見直しを!

私たちの会派から要望しておりました市バス運転士採用時の学歴要件(中学卒または高校卒)が令和2年度から撤廃されました。一方、年齢要件は35歳未満と据え置かれています。今後10年間で約70%の職員の方が定年を迎え、いかに運転士を確保していくのが課題です。他都市では名古屋市45歳、横浜市49歳、京都市60歳となっている中、神戸市における年齢要件見直しを提言させていただき、交通局長から前向きに検討するとの答弁をいただきました。今回の提言は地域の方からご相談を受けたことがきっかけです。人生100年時代といわれている今、時代に合わせた考え方が必要です!



交通局

市営地下鉄の最終電車は現行維持!

JR西日本や東日本が最終電車の繰り上げを表明しておりますが、市営地下鉄の最終電車について現行を維持するよう提言させていただき、交通局からは繰り上げはしないとの答弁をいただきました。交通局だけの会計を見れば、地下鉄利用が24%減少していたり、深夜時間帯の乗客減もあり必要かもしれません。一方で神戸市全体の活力維持の観点からは、最終電車を早めるのはマイナス面も大きく何とかがんばっていただきたいと考えます!(翌日の神戸新聞に掲載されました)



その他にも「市バス車内アナウンスの空白時間の活用」「燃料電池バスの導入」「阪急御影駅南側バス停へのベンチ設置」などについて質疑・要望させていただきました!

都市局

30年後の私たちの暮らしを見据えて!

三宮再整備は約30年後を見据えた計画のため、現在の私たちではなく、未来の私たちの生活スタイルを想像して、未来の私たちにとっていい街にしなければなりません。再整備計画を進める都市局長に対して、想像する未来の私たちと現在の計画がどうマッチしているのか質疑致しました。また神戸市が進める三宮再整備と兵庫県が進める元町や県庁エリア再整備は100年に1度とも言われる大きなプロジェクトになります。県市が実務レベルでもしっかりと連携し、一体的な発展を目指せるよう強く提言させていただきました!



都市局

六甲アイランド活性化!

2018年にまちびらき30周年を迎え、「六甲アイランドまちの将来像検討会」が立ち上がり、2019年に住民アンケートが実施され、現在その結果やいただいた意見の取りまとめが行われています。中身を見てみると30歳前後の子育て世代など若い方の声が少ないのが1つの課題です。将来の地域活動の担い手確保・育成に繋げるという意味でも、若い世代の意見をしっかりと取り入れる仕組みづくりを提言させていただきました。企業誘致による昼間人口の増加策やAOIA跡地の有効活用と暫定利用、住民用ライナー運賃など、引き続き取り組んでまいります!



都市局

阪神電鉄連続立体交差事業!



2019年11月をもって全線約4kmに渡る高架切替が完了いたしました。これからも引き続き沿線住民の皆さまや警察、阪神電鉄と密で丁寧なコミュニケーションを取りながら、側道や駐輪場の整備、信号設置や交番移転などを進めていただくよう要望させていただきました!

その他にも「六甲・摩耶山上の交通利便性向上」「MaaS(移動手段サービスの統合)の導入」「用途地域の見直し」などについて質疑・要望させていただきました!

菅総理へ 神戸の新たな未来に向けた要望!

昨年11月に私たち自民党神戸市会議員団と久元市長で総理官邸に伺い要望活動をさせていただきました。

「特別自治市制度の早期法制化」「デジタル庁の拠点を神戸へ」「国際都市神戸の更なる発展に向けた支援」「水素利活用モデル都市神戸の発展に向けた



支援」「海洋産業都市神戸の発展に向けた支援」の5点を要望。大変多忙な中貴重なお時間をいただいたことはありがたいことで、要望事項にもしっかりと耳を傾けていただきました。菅総理は横浜市議を2期務めたことが原点とおっしゃっており、身の引き締まる思いです!

中央市民病院の新型コロナ専用病棟運用開始!

神戸市立医療センター中央市民病院に全国で初めて新設された新型コロナ専用病棟。昨年4月に初めての院内感染が発生しましたが、既存の病棟では医療従事者の皆さまがどれだけ用心しても物理的に院内感染を防ぐことが難しく、臨時専用病棟の新設にいたりしました。専用病棟は14床の集中治療室機能を備え、全36床すべての病床で重症患者の受け入れが可能。全室が陰圧環境となっており医療従事者の方も安心して勤務できる構造になっています。また遠隔モニタリングシステムで患者の状態を確認することもでき、面会もタブレット端末を使うことで病棟に入ることなくコミュニケーションを取ることができます。市民の皆さまの命を守るよう、しっかりと備えを固めてまいります!



いつもたくさんのご相談ありがとうございます!

神戸市議員はそれぞれの区から選んでいた地域代表です。道路の凹凸、安全対策、保育園や児童館など生活に身近なことから、市の制度に関すること、予算への要望など、たくさんのご相談をいただいております。地域に根差すことを心掛け、これからもフットワーク軽く活動してまいりたいと思います!お気軽にご相談下さい!



「川に転落する危険がある」とのご相談



柵を設置していただきました!

最後までお読み頂きありがとうございました。

政治家はホワイトキャンパスでもあります。皆様からのご要望などお待ちしております。

子育て、教育、暮らし、地域課題などお気軽にご相談下さい!

大野 陽平

〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町2丁目17-21 615

☎078-851-6996 ☎080-1459-2347

✉yoheihono11@gmail.com



感染リスクが高まる

「5つの場面」

場面
1

飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面
2



大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面
3

マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面
4



狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面
5

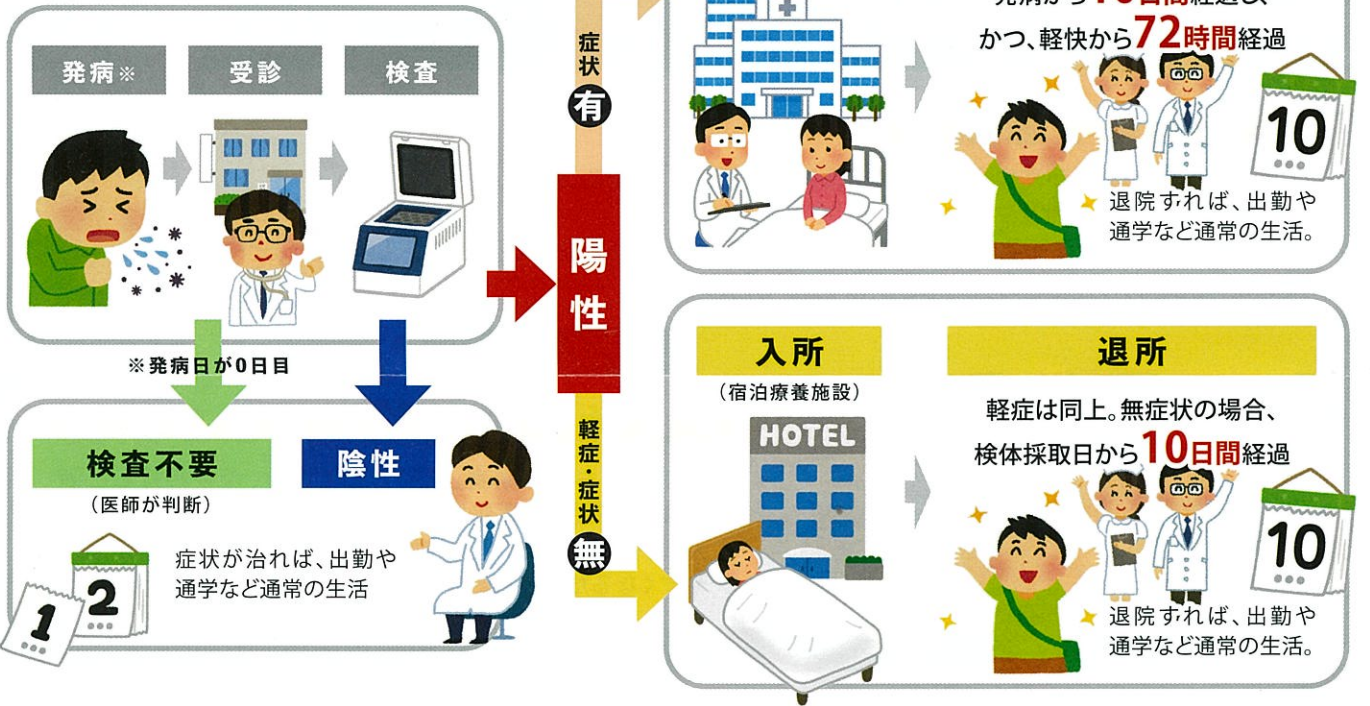
居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



感染した時には？ 受診から退院まで

FLOWCHART



身近に感染者が出た時には？



市政報告 (東灘区版)

安井俊彦

医療崩壊防止について

コロナ対策医療崩壊として機関民間病院の医療崩壊と経営破綻を防ぐため、市長に直接現状を訴える。コロナに対して神戸市民病院の活躍は目覚ましいものがありますが、それらを支え懸命に努力している沢山の民間病院と町のドクターがそれぞれ医療崩壊や経営破綻の危機にある事から、神戸市東部の三病院長が安井俊彦市議員（自民党相談役）と河南自民党政調会長がパイプ役となって現状を報告し、今後とも市関係と連携を深め医療崩壊も経営破綻も起こさないようにする。久元喜造市長も一市だけで出来る事にも限界はあるが国と相談をしながら市として出来る事を一生懸命やっけて行くことを言明した。



神鋼記念病院 東山 洋 病院長
甲南病院 具 英成 病院長
神戸海星病院 黒坂昌弘 病院長

医療崩壊を防ぐべく久元市長に要望しました

待望のダンジリ記念館(仮称)が実現か！

安井俊彦議員が長きに渡って主張してきたダンジリ記念館(仮称)が実現する見通しとなった。東灘区政70周年記念事業の一環として、歴史文化の中心であるダンジリの魅力を発信し継承する発信基地として、民間の力を借り、阪神間で初めて造られる。現在ある市立住吉幼稚園跡地を、ダンジリ文化をよく理解して下さる方、または企業や団体の御厚情で12億3千2百万円で購入して頂き、建設し運営をして頂く方を公募している。営利が求められるものでなく社会貢献事業となるだけに、安井俊彦議員はもっと低価で出すべきと主張している。また、教育・防災・防犯・絆・経済効果等、ダンジリが果たす事について研究するアカデミックな部屋も欲しいと主張しています。

平生鈇三郎先生が神戸市の小学校と中学校の副読本として教材に採用予定を甲南学園関係者に報告

安井俊彦議員は6年前から神戸市が生んだ偉人平生鈇三郎先生、嘉納治五郎先生、賀川豊彦先生を神戸の子供達に研究してもらいその生き方や人々に対する貢献について知る事によって人格の形成の一助となると考え、あらゆる委員会で提言してきました。当局も作業を始めて下さり、まず小学校4年生の副読本に掲載され、さらに平生鈇三郎先生は特に来年度の中学生のコンピューター学習の一部として採用される予定であります。そこで平生鈇三郎先生によって創立された甲南学園関係者に報告賛意し御協力をお願いした。報告を受けて下さった同学園の長坂悦敬理事長は「神戸市の子供達が学んで下さるなら学園の子供達はもっと平生鈇三郎先生を知らなければなりませんね。」とおっしゃって甲南学園としてもさらに平生精神を発揮し災害にもコロナにも平生精神の「常に備えよ」と語られました。



甲南学園 葉袋真人 理事

甲南学園 片山 勉 副理事長
甲南大学 中井伊都子 学長
甲南学園 長坂悦敬 理事長

甲南学園関係者に報告する安井俊彦議員

阪神電鉄連続立体交差点事業について

駅前広場について

- ・青木駅と深江駅には、新たに駅前広場が整備されることとなります。
- ・シンボリックな歩行者空間に加え、一般車の乗降スペースはもちろんのこと、障がい者の乗降スペースや、タクシー専用の乗降スペースも整備され、魅力的で人にやさしい駅前として生まれ変わるようになります。
- ・また、お祭り際には、ロータリー部が、地域のシンボルであるだんじりの練り場として利用できるよう、できるだけフラットになるよう整備される予定です。

<駅前整備イメージ(上:青木駅、下:深江駅)>

高架下利用について

- ・連続立体交差事業では、高架下の有効面積の内、15%を公共空間として優先的に利用できることになっています。・阪神電鉄連続立体交差事業においても、公共空間として利用できる15%を利用することになっており、交番の移転用地に加え、青木駅と深江駅にそれぞれ駐輪場が整備されることでほぼ使い切ることになります。残る85%については、阪神電鉄が高架下利用を行うことになり、賑わい施設等の立地が検討されているようです。



今後の予定について

- 側道等の道路整備については、令和4年度末の完成を見込んでいます。また、防災性の向上や景観への配慮等の観点から電線類の地中化も行う必要があるため、一旦10mの道路空間を確保した上で、令和4年度より地中化の工事に取り掛かれるよう関係機関協議等を行っています。

神戸市 政令指定都市から特別自治市に向けて活動！



特別自治市制度の早期法制化を菅総理に要望しました

自由民主党神戸市会議員団は二重行政解消と神戸市と市民がより良くあたりまえの行政効果を得るとともに、日本国と世界のために貢献できる都市となるために、国からの権限や財源、情報について直接受理できるようにしたいと考えています。この件で安井俊彦議員は25年前に「地方分権に対する私的提案」という小論文を発表したり、また、総務大臣表彰を受ける等、この分野では神戸市会、関西広域連合においても発信を続けています。まず、旧五大都市、神戸、大阪、京都、名古屋、横浜から実例を示したいと願い、それら自治体の議会人に呼びかけ、特別自治市の実現に向かっていい方向に進んでいます。また、久元市長は、現在、政令指定都市市長会の特別自治市実現のために新設されたプロジェクトリーダーでもあることから、共に目標に向かっていきたいと考えています。この件でのいろいろな背景の中でも今回のコロナ問題でも県主体であったことや、神戸市域内からの県税収入額2,320億円に対し、県から神戸市への支出金、交付金は1,030億円で44.3%となっています（令和元年度）。兵庫県事業として、直接執行している金額が含まれていないとしても、県税の神戸市への還元割合は低いと言わざるを得ません。

県税の神戸市域内税収額（令和元年度）

（単位：百万円、%）

神戸市域内からの県税収入額	県から神戸市への還元額	還元割合
232,061	102,732	44.3%

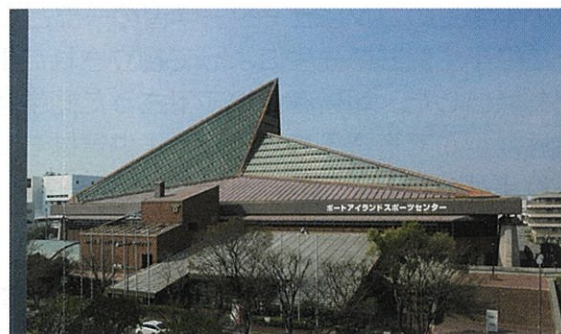
嘉納治五郎ロード実現へ！ ▶嘉納治五郎ロード実現に向けて区長に要望書を手渡しました

安井俊彦議員は、御影が生んだ世界の嘉納治五郎氏を、もっと地元が検証しなければならないと議会で何度も主張した結果、市も同氏を小学校の副読本に掲載する等しています。地元も御影公会堂に記念コーナーを設ける等、私も全力を尽くしました。同氏は大変な平和主義者で、戦争に走る軍部に反して東京オリンピックを世界で決定させますが、軍部によってつぶされ幻の東京オリンピックとなりました。私達は更に同氏を検証するべきとして、郷土史研究者の道谷卓先生からのご提案もあり、御影に嘉納治五郎ロードを設置することを、御影まちづくり協議会（高嶋良平会長）、御影自治会連絡協議会（鍵田武志会長）それぞれが、同時決議して神戸市道路愛称事業事務処理基準に従い作業が進められ、来年4月頃の実現する見通しとなりました。安井俊彦議員はこの件のアドバイザーとなり、行政とのパイプ役となると共に実質議論に入っています。



ポートアイランドスポーツセンターが全面建替えへ

スポーツセンターが築39年になることから、我が会派の安達和彦議員（須磨区）が全面建て替えを提案、市長も令和7年度完成予定で考えたいと発言しました。また安井俊彦議員は、この際客席が同じ2,500席では大きな大会の誘致に競争力がつかないことから、客席をせめて5,000席以上にしよう、11月議会で一般質問をされた安達和彦議員に提案しました。市長はスケート、水泳等スポーツ関係者と相談をしてから決定すると言明しました。同センターからは女子フィギュアの坂本花織選手や三原舞依選手等が育っています。また、上野衣子・平松純子親子によって築かれた兵庫県スケート界の伝統を守り、水泳界のためにも良い施設にするべきだと主張しています。安井俊彦議員の調べでは75億円～100億円の建替えと思われます。



神戸で夜市を提案！

安井俊彦議員は、令和2年11月30日の経済港湾委員会において、夜市を作ろうと提案いたしました。場所はウォーターフロントを利用して中突堤辺りを想定しています。幸いにして兵庫県韓国商工会の皆さんがアジア館を造ってはとの考えがあり、候補地を神戸、尼崎、姫路と色々ありますが、タイ、中国、台湾、インド、ベトナム等の店が並んだ夜市はいかに神戸らしく、ポストコロナに向けて考案を仕込んでどうかと提案しました。これに対し当局は、コロナで民間投資意欲は減退しているが、関係局と相談して積極的に民間事業者が参加して頂けるような取り組みに対して誘致等を進めていきたいとのことでありました。安井俊彦議員は難しいが主張を続けて参ります。



経済港湾委員会において提案する安井委員

市政報告 (須磨区版)

令和2年第2回定例会市会11月議会において一般質問のため登壇しました！

令和2年第2回定例会市会が、11月27日から12月8日までの12日間の会期で開かれました。12月7日の本会議の一般質問で、市長及び副市長に対して一般質問を行いましたので、ご報告（要旨抜粋）をさせていただきます。

コロナ禍における医療機関等への更なる支援について

Q 【安達議員】新型コロナ患者を受け入れる医療機関の経営は急速に厳しい状況となっており、風評被害による患者減少も伴い、大幅な減収が見込まれています。国に対し、更なる抜本的な医療機関・医療従事者支援を求めるべきと考えますが？

また先般緊急包括支援交付金による新型コロナ患者受け入れのための空床確保補助が、兵庫県においては未だ医療機関に交付されていないことが報道されましたが、神戸市が機動的かつ緊急的な対応を行えるよう、国



に対し、政令指定都市を緊急包括支援交付金の一般質問を行うため登壇した安達和彦議員直接交付の対象に追加するよう求めるべきと考えますが？

A 【久元市長】新型コロナウイルス感染症患者の増に伴いまして、対応にあたる医療機関では、通常よりも手厚い人員での診療や徹底した感染防止対策を行う必要から、負担がさらに増大しています。患者受け入れ病院の中には、通常医療を制約せざるを得ない状況もあることから、病院の収益を大きく圧迫していると承知しています。

今後、季節性インフルエンザ流行期も重なることで、患者が増加する恐れがあり、さらに長期化も予想される感染症対応の中では、医療提供体制の確保に向けた継続的な負担軽減策や、一層の財政支援が必要です。地域の実情に応じた持続可能な医療機関の経営および医療提供体制の確保に資するため、国の責任において医療機関に財政支援を実施するなどの、夏の国家予算に対する提案要望を行いましたし、さらに冬の国家予算要望におきましても、地域の実情に応じた財政措置として、地方創生臨時交付金や緊急包括支援交付金の増額や、患者受け入れ医療機関に対するさらなる支援を要望したところであります。

特別自治市の実現について

Q 【安達議員】大阪都構想をめぐる住民投票は、反対多数により否決をされました。二重行政の解消の為には、基礎自治体を潰してしまうような都構想でなく、横浜の林市長や我が久元市長が強く主張している特別自治市の実現が一番現実的であると考えます。特別自治市の実現について、久元市長の決意を伺いたい。



【久元市長】大阪都構想の住民投票が実施されたこともありまして、大都市制度に関する関心が高まっております。総理は、指定都市の実情も熟知されていることから、指定都市の制度改革を訴える好機と捉えております。11月16日には指定都市市長会としてとりまとめました、指定都市への事務、権限および税財源の移譲推進と、多様な大都市制度の実現に向けた指定都市市長会提言につきまして、林 文子指定都市市長会会長とともに武田総務大臣、官房長官に要望を行いました。具体的な検討方法は今後詰めていくこととなりますが、第30次地方制度調査会で示された課題、例えば、移譲を受ける事務と権限などについて検討を行うとともに、具体的な法制度、素案につきまして提案をしたいと考えております。来年5月の指定都市市長会会議で中間報告を行うことを目標に、年内に作業部会を行った上で、年明けにも第1回目のプロジェクト会議を開催したいと考えております。

デジタル庁の誘致について

【安達議員】 菅政権の目玉政策の一つでありますデジタル化を一元的に担うデジタル庁について、ベンチャーと行政が協働し、スタートアップを支援する事業にも力を入れている神戸市こそ、デジタル都市に相応しく、是非とも手を挙げるべきではないかと考えますが？



デジタル庁の誘致、特別自治市制度の早期法制化など神戸の新たな未来に向けた要望書を菅総理に手渡しました(11月12日 総理官邸)

【恩田副市長】 中央省庁の地方移転につきましては、国会対応の難しさなどから、なかなか進んでおらず、大変ハードルが高いことも承知しております。ただ一方で、新型コロナウイルス感染症によりまして、生活様式の変化が求められる中で、地方でも業務が可能であることを示すことが、デジタル庁の意義になることも認識をしております。本市も、DX(デジタル社会の実現)を推進しておりまして、市民サービス、市民とのコミュニケーションの改革、職員の業務改革、働き方改革の観点から、多角的かつ他都市に先駆けた取り組みもいろいろと進めているところでございます。

デジタル庁の意義になることも認識をしております。本市も、DX(デジタル社会の実現)を推進しておりまして、市民サービス、市民とのコミュニケーションの改革、職員の業務改革、働き方改革の観点から、多角的かつ他都市に先駆けた取り組みもいろいろと進めているところでございます。

体育・スポーツ関連について

4年後の完成を目途に75億~100億円で建替え決定!

【安達議員】 ポートピア81が開催された昭和56年に整備され、既に40年が経過するポートアイランドスポーツセンターの建替えについて、どのように考えておられるのか？

【久元市長】 施設の老朽化・陳腐化が進んでおり、今後設備更新や修繕などで多大の経費が必要となると見込まれます。特に天井部分がつり天井の構造であり、早急な対応が必要です。ポートアイランド・スポーツセンターの建て替えが必要であると考えているところでありまして、ご指摘を踏まえ、早急に具体的な検討をスタートさせて戴きたい。

【安達議員・再質問】 建て替えて戴けるということで嬉しいお答えを戴きましたが、できれば通年リンクをという望みを強く持っておられるスケート連盟や、スケート関係者の皆さんに対してどう

いうふうにお考えになっておられるのかということと、現在2500席の観客席と聞いていますが、新しく建て替える場合、観客席数というのはどのようになるのか？

【久元市長】 ご指摘戴きましたように、スケート連盟のご意見をしっかりと聞きし、それから観客席も含めて、内部の構造をどうするのか、基本的な構造をどうするのか、これらの検討が必要になりますので、これから関係者の方々のご意見も踏まえながら、新しいスポーツセンターの内容について検討をスタートさせていきたい。

【安達議員・再質問】 夏の自然体験活動は継続するが冬のスキー体験活動は段階的に廃止するということとありますが、自然体験活動の経験が豊富な民間団体。例えばスキー連盟であるとかボーイスカウトであるとか、あるいはユースネットなどとの連携で、またこれまで市外施設を利用されていた訳ですが、六甲山の人工スキー場などもある訳ですので、市内施設への変更をするということと日帰りの活動にするなど、実施方法を工夫することで、家庭や学校では学ぶことのできない貴重な機会を廃止ではなく、確保すべきというふうにお考えですか？

【長田教育長】 神戸の豊かな自然を生かして六甲山等で自然体験、自然活動を行っている学校は多いところでございますが、今後教員の働き方改革やウイズコロナの視点も踏まえまして、民間団体や市内の関連施設とどのように連携できるのか、教育委員会が主体となりまして、具体的な協議を行い、ご指摘の通り家庭や普通の学校生活で学ぶことができないこの学びの貴重な機会ということとでございますので、この機会をできるだけ確保できるように努めてまいります。

【安達議員・要望】 磯上公園内に無償で設置許可を出しているKR&ACについて、150年にわたる歴史に対しては改めて敬意を表したいと思っております。ただ明治の初め、開国直後、神戸居留の外国人のための福利厚生の施設として、また市民と外国の方々との交流の場として、外国人の方自らが作られたクラブであり、そこに存在意義というか存在根拠があった訳ですけれども、それが現在のクラブの役員構成などを見ても、当時のクラブ設立の理念と大きく異なるものを感じております。もはや無償という特別待遇を与える根拠はないと断言したいと思っております。

磯上公園は、神戸の都市エリアに近く、一部の限られた市民の占有物ではなく、スポーツを楽しむ全ての市民の財産であることから、今後も継続して使用許可をする場合、少なくとも適正な使用料を徴収すべきと考えます。

レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域の指定)について

【安達議員】 県が指定したレッドゾーンについて元々神戸市が良好な住宅開発の為に適切にそして合法に造成し、その後もしっかり維持管理している斜面については、調査だけに終わらせることなく、一定の安全性が確保されている場合、対策工事の実施の有無にかかわらず、県に対してレッドゾーンの指定解除を働きかけるべきと考えますが？



【油井副市長】 レッドゾーンの斜面の多くは民有地ですが、市所有の斜面も相当数ございまして、建物への影響等を踏まえ、優先度をつけて計画的に対応していくと考えております。市が開発した住宅地でも、市が所有する周辺緑地等の斜面でレッドゾーンが指定されているという現状でございます。これらの斜面は宅地造成に関する基準を満足し、さらに技術的な調査、検討の上で計画的に造成しておりまして、現在も適切に維持管理を行っているため、一定の安全性が担保されていると考えてございます。

適切な維持管理により斜面自体の安全性が担保される場合や、都市計画などの法規制によって建築行為を将来にわたって禁止し、斜面周辺の安全性を担保する場合については、必ずしも対策工事を実施しなくとも、レッドゾーンの見直しの余地があるのではないかと考えているところでございます。

王子公園周辺の整備について

Q 【安達議員】決して駅前の高いポテンシャルを生かしきれているとは言えない王子公園周辺について、リニューアルが待たれる王子動物園はともかくとして、王子スタジアムを含め、幅広く王子公園駅周辺の再整備を大胆かつ速やかに検討すべきと考えますが？

A 【久元市長】動物園は、神戸市民だけではなく、近隣府県をはじめ多くの方々から親しまれておりますが、開園から70年目を迎え、施設の老朽化が進んでおります。陸上競技場・王子スタジアムにつきましても、供用開始から60年以上が経過し、老朽化が進んでおります。現在アメリカンフット



トボールの試合会場などとして利用されているものの、陸上競技場としては、陸連公認施設からは除外されたこともあり、本格的な陸上競技利用はなされていないというのが現状です。さらに王子公園は総合公園であるにもかかわらず、地域住民や周辺の美術館などへの来訪者などが立ち寄る場所へ散策や、憩いくつろげる空間が少ないという現状もあります。このため、王子公園を含む駅周辺の再整備を行う必要がある。王子動物園のリニューアルに加え、陸上競技場のあり方や、市民が憩いくつろげる空間の創出など、王子公園駅周辺のまちづくりを柔軟かつ大胆な発想を持って、スピード感を持って早急に検討していきたい。

【安達議員・要望】市長から力強いお言葉を戴きましたけれども、「若者に選ばれるまち」の概念、取り組みを推進して戴くためにも、その先導的なエリアとして王子公園周辺のポテンシャルを高め、さらに斬新な具体策、例えば新たな大学の誘致なども含め、積極的に検討を進めて戴くことを要望しておきたいと思っております。

日本遺産に決定した灘の酒についての要望

【安達議員・要望】本年6月12日に灘五郷の酒が日本遺産に認定・登録されました。6年前に、当時議長として「神戸灘の酒による乾杯を推進する条例」を議員提案した1人としても、大変嬉しく思っています。その昔、灘の酒は樽廻船により江戸に運ばれ、江戸の人々の8割が愛飲したことで発展し、ついには江戸では灘の酒が独占するに至ったと聞いております。樽廻船はまさに灘五郷の造り酒屋の皆さんが造り上げたもので、現存していませんけれども、この発展の礎となった樽廻船に思いをいたし、船による海路で酒を運ぶイベントなどを行い、さらなる灘の酒の発展を図りたいという気持ちが膨らんできております。当局におかれても、酒造業界の方々との協力の中で、その実現方に努力戴けますように要望をいたしまして、質問を終わります。



うえなか 雅子

自民党 Lib Dems

まさこ

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症の蔓延が、私達の普段の生活を大きく変えてしまいました。改めて「普通に生活できる」ということが、どれ程ありがたいことであったのかと思い知る日々でございます。

ワクチンが行き渡るまで、まだまだ不安とご不便が続きますが、三密・うがい・手洗い・消毒・ソーシャルディスタンス等を油断することなく遵守し、それぞれが身を守り他に迷惑を掛けないようにしたいものであります。

本年度は福祉環境委員会の委員長として、環境局・福祉局・健康局の審査に努めております。特に健康局は、毎日のコロナ感染者数・重症者数・死者数・病床数の状況等々、刻々と変化する市内感染者対応に職員一丸となって奔走し、保健所でも40名が新たに雇用され、各区の濃厚接触者への調査等々に連日取り組んでいるところでございます。残念ながら、感染者やその家族・医療従事者に対する差別偏見が続いています。

新型コロナウイルス感染は特別なことではなく、誰もが感染する可能性があります。新しい年を「自助」「共助」の上、さらなる「公助」への取り組みを推進して参ります。共にこの困難を乗り越えて参りましょう!!
困ったことがありましたら是非ご相談ください。



福祉環境委員会にて(7月7日)

新型コロナウイルス感染は、特別なことですか?

ウイルスが
体を苦しめる。
偏見が
心を苦しめる。

神戸でも、感染者が増えています。知らない人が感染する可能性があります。差別や偏見は、感染者やその家族・医療従事者にも大きなダメージを与えています。新型コロナウイルスは、誰もが感染する可能性があります。偏見や差別は、感染者やその家族・医療従事者にも大きなダメージを与えています。

お悩みやご相談があれば、お気軽ください。
078-371-1855 078-322-5273

KOBE
KOBECO City of Kobe

神戸市会議員 うえなか 雅子

「神戸の新たな未来に向けた支援要望」を菅義偉内閣総理大臣に提出しました



令和2年11月12日午後2時20分に、自由民主党神戸市会議員団15名で首相官邸を訪れ、菅義偉内閣総理大臣と面会し、「神戸の新たな未来に向けた支援要望」を提出させていただきました。

同行の久元喜造神戸市長と共に、緊急包括支援交付金(兵庫県分925億円)が兵庫県から関係医療機関へ未だ交付されていない(11月末現在14病院中5病院のみが交付済)状況から、指定都市を直接交付の対象に追加していただきたいことや、「特別自治市」制度の早期法制化等を要望させていただきました。



神戸の新たな未来に向けた支援要望

神戸の新たな未来に向けて、下記のことについて、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 「特別自治市」制度の早期法制化を
 - ・基礎自治体優先の原則の下、住民により良い行政サービスを提供するために、二重行政を完全に解消し、公平な税財源配分に見直す「特別自治市」制度の法制化を早期に実現していただきたい
 - ・コロナ禍における感染症患者受入医療機関の経営・運営支援(空床確保、院内感染防止対策等)のための「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」について、指定都市が機動的かつ緊急的な対応を行えるよう、直接交付の対象に追加していただきたい
- 「デジタル庁」の拠点を神戸へ
 - ・神戸は、ベンチャーと行政が協働する最先端のデジタル都市であり、新たに設置される「デジタル庁」の拠点を神戸に整備していただきたい
- 国際都市・神戸の更なる発展に向けた支援を
 - ・神戸は、1868年の開港以来の国際都市であり、インターナショナルスクールなど国際人材に対する教育・住環境が充実していることから、神戸の国際金融都市の実現に向けて支援していただきたい
 - ・神戸は全国第2位の国際会議開催都市であり、グローバルMICE都市として更なる発展に向けて、TICAD(アフリカ開発会議)をはじめ、国際会議の神戸開催に向けて支援していただきたい
- 海洋産業都市・神戸の発展に向けた支援を
 - ・神戸は、神戸港開港以来、海洋都市として発展してきた。海洋資源、海洋のエネルギー開発、海上・海中・海底のスペース有効利用など、海洋産業都市の発展への新たな取組を支援していただきたい
- 水素利活用モデル都市・神戸の発展に向けた支援を
 - ・神戸は、水素エネルギーに着目し、事業者と連携して先進的な2つの実証事業に取り組んでいる。実証事業の成果を社会実装に向けて一層加速させるために、需要・供給両面で支援していただきたい



内閣府経済再生担当大臣室にて

11月13日午前9時から、自由民主党神戸市会議員団7名で、神戸や兵庫県ゆかりの衆議院議員・参議院議員をお訪ねし、「神戸の新たな未来に向けた支援要望」をさせていただきました。

西村康稔経済再生担当大臣にお目にかかり格別のご配慮をお願いいたしました。

参議院議長公邸にて

11月5日午前10時に自由民主党神戸市会議員団13名で山東昭子参議院議長公邸を訪れ、「神戸の新たな未来に向けた支援要望」を、安達和彦団長より手渡しさせていただき、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたしました。



1 新型コロナウイルス感染症対策について

避難所における対応について

【質問】 植中雅子

豪雨や台風等による自然災害に加えてのコロナ対応は、今まで以上に地域団体との連携による対応が必要となる。有事の際の行動を共有し、万全の対策を講じるべきかと考えるが、見解を伺いたい。

【答弁】 久元市長

コロナウイルスが拡大した場合の風水時の緊急避難場所の運営については、職員向けのマニュアルを作成し、区役所を中心に共有を図っており、原則として行政が責任を持って対応する。避難所運営については、先進的な地域の取組事例など必要な情報提供をしながら、地域と一体となって万全の対策を講じていきたい。

【再質問】 植中雅子

3密を避けるため、避難者は通常時は1人16㎡以上の占有面積を確保し、人が多いときには間仕切りで1人4㎡の面積を確保することになっている。避難所の定員があふれることが考えられ、事前に車中泊あるいはテント利用、親戚宅、ホテルや旅館、自宅の2階等への分散避難のマニュアルを、家族構成や体調等、実情に応じた早急な検討が必要である。またテープや間仕切りで区画されることになっているが、熱中症の防止に向けて、他都市が行っているような風通しのよい不織布の素材を導入することも検討すべきかと考えるがどうか。

【答弁】 油井副市長

在宅避難や分散避難を含めた適切な避難行動について、情報提供を引き続き行っていきたい。避難所でのコロナ感染症防止に向けて、各区に間仕切りや段ボールベッドを配置した。他都市の事例も参考にしたい。避難所の熱中症対策は、換気に配慮しながら学校園の空調やスポットクーラーの配置を行っている。

医療人材の確保について

【質問】 植中雅子

関西圏で看護師の処遇について地域格差が発生し、神戸市において人材確保が困難になるのではないかと危惧している。兵庫県看護協会及び看護連盟の皆様からも、危険手当等の特別な手当の支給について、切実な要望をいただいている。

【答弁】 寺崎副市長

神戸市の医療支援の考え方として、こうべ医療者応援ファンドを作っており、既に5億円近い浄財が寄せられ、設立後直ちに3億円の配布を行った。今補正予算にも必要な予算を計上しており、感染の恐怖を低減していくために様々な支援を行っている。これをこうべ病院安心サポートプランという形で、様々な院内感染防止等の対策についての助成を神戸市単独で行っている。

医療従事者の方が安心してコロナの次なる波に対応するための治療にも当たっていただけるような体制を整備し、しっかりと支援してまいりたい。

2 神戸経済の活性化について

有馬温泉や六甲山を活用した観光誘客について

【質問】 植中雅子

六甲山上スマートシティ構想は、withコロナ、afterコロナの時代において大きな可能性があると感じている。六甲山から有馬へは開業50周年を迎える六甲有馬ロープウェイでつながっており、六甲山に来られた方にも週末などにぜひ利用してもらいたい。神戸の大きな財産である六甲山プラス有馬温泉の活性化のため、本市独自で早急に対策を行うべきかと考えるがどうか。

【答弁】 久元市長

六甲山上スマートシティ構想は、大変これから期待が持てる構想だと考える。六甲山上で働き、あるいは暮らしておられる皆さんが有馬にも訪れていただく、これまで以上に六甲山と有馬との連携、これらを図っていくことは非常に重要な視点である。

withコロナでの新しい生活様式として、屋外や自然といった観光コンテンツが注目されていることに加え、六甲山「賑わい創出事業」を活用したホテルのオープンや北神急行線の市営化による運賃の大幅な引下げ等、六甲・有馬エリアの観光地としての魅力は着実に向上している。夏休み期間限定で六甲有馬ロープウェイの子供・小学生無料キャンペーンについて準備を進めている。

六甲ミーツ・アートでは、六甲山上の施設だけではなく、有馬温泉まで範囲を広げてアート作品の展示を行う。六甲・有馬エリアの魅力を最大限に生かした誘客に努めていきたい。

【再質問】 植中雅子

新型コロナウイルス感染症により困っている人々を支援するため、「ふるさと神戸ダブル応援基金」が創設され、頂いた寄附と同額を神戸市が拠出するという手法は大変すばらしい取組と感じて期待しているが、創設から約1か月半が経過しているが、まだ活用されていないと聞いている。困っている市民のために早期に活用すべきかと考えるがどうか。

通常のふるさと納税制度についても、有馬の文化を体験できる事業や特産品



と交換できるメニューを検討すべきかと考えるがどうか。

【答弁】 寺崎副市長

神戸ダブル応援基金ですが、現在289件、総額1,362万円の御寄附を頂戴している。観光分野ではこのうち15件、30万円の御寄附を頂いて、まだ額としては大きな額になっていない。ある程度この額がまとまったら、趣旨ののっとり早期に支援に活用してまいりたい。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって売上げが減少している事業者を対象とした、神戸市ふるさと納税返礼品の新規公募を行い、順次返礼品を追加し、有馬関係としては既に10件ほど採択が決定している。有馬温泉に限らず、今回影響を受けた皆様に対して支援につながるよう引き続き検討してまいりたい。

【要望】 植中雅子

有馬観光案内所は協会が自主財源によって運営しているが、コロナの影響で会員の多くが経営に苦しんでいる。本市の貴重な観光資源である有馬温泉を支えるためにも、有馬観光案内所においても市営化や委託等の対応を行っていただき、有馬に対する支援を強く要望する。

令和2年度9月補正により、500万円が補助されました。

3 北神急行線市営化を契機とした北区の活性化について

谷上駅を中心としたまちづくりについて

【質問】 植中雅子

令和2年6月1日に北神急行が市営化され、谷上から三宮間の料金が550円から280円まで引き下げられることになりました。これを契機とした北区・北神地域の活性化が望まれる。駅周辺エリアの魅力あるまちづくりを進めるために開発を進め、住居やオフィス機能を高める取組を検討していただきたいと思っているが、いかがか。

【答弁】 久元市長

駅前広場については、ロータリー機能としてバス停を1バス増設したほか、駅前広場内の歩道再整備を行っている。神戸三田線については、皆森から谷上駅間の3車線化を目指し、県警との協議や沿道住民への説明を行っており、調整が終わり次第、順次着工していきたい。谷上周辺は、開発可能な土地が限られているが、豊かな自然環境や農地はこの地域の重要な資源であり、周辺環境の保全や防災面にも配慮しながら魅力あるまちづくりを進めていきたい。今後、駅周辺の低未利用地などの土地利用状況や地権者の動向を踏まえながら、必要なオフィスを含めた都市機能、居住機能の導入について検討を進めていきたい。

【再質問】 植中雅子

駅前ロータリーは手狭であり、現在の面積を前提とした整備ではなく、例えば河川の上部利用などを含め、谷上の顔となるような整備が必要と考えるがどうか。

【答弁】 油井副市長

必要に応じてご指摘の河川の上部利用等の可能性についても探ってまいりたい。

北区の里山暮らしの推進について

【質問】 植中雅子

市営化に伴い、利便性が向上している北区での住まいは最適である。北区を最重点地区に位置づけ、都会に近い里山暮らしの様々なメリットや支援策を広くPRに努めるべきかと考えるがどうか。

【答弁】 岡口副市長

都心近くの便利さと豊かな自然環境を併せて享受できる里山暮らしのメリットを、北神急行市営化の機会に、その魅力、支援策と併せて広くPRしていきたい。

市バスの路線について

【質問】 植中雅子

北区全体のまちづくりの観点から、北神線の市営化を生かし、62系統の利便性を向上することで活性化につながる。現状では便数が少ないことや新型コロナウイルスの影響や、大学のオンライン授業等により、定期券を購入していただける状況にはない。特に谷上駅発北町方面行き帰りの便は18時台が最終便となっており、これでは定期券購入には至らず、増便が必要と考えるがどうか。

【答弁】 岸田交通局長

谷上駅発19時・20時台の運行について早期に実施できるように調整してまいりたい。

さらに、10月8日の決算特別委員会にて、第1分科会の交通局の審査で、安井俊彦委員が、市バス62系統増便を質疑し、64系統を1便も減らすことなく、62系統が13便増便され利便性が向上することになりました。

谷上発北町行き	6本増便され	計15本
北町発谷上行き	7本増便され	計12本
蔵本発谷上行き		1本



健康局への質疑

① 新型コロナウイルス感染症対策について

コロナとインフルエンザの同時流行について

【質問】 植中雅子

県保険医協会が県内の診療所に対して行った緊急アンケートの結果、新型コロナウイルスの検査や診療を担う地域の医療機関の指定を受ける方向で検討しているのは2割弱にとどまったということであるが、市内の状況はどうか。

【答弁】 花田健康局長

神戸市医師会が先日会員向けに行ったアンケートでは、内科系の診療所の約7割程度が診療可能という回答である。帰国者・接触者外来などの病院や診療所も含めて、少なくとも神戸市内で150か所程度は受診できることを確保していきたい。

【再質問】 植中雅子

令和2年のインフルエンザ予防接種の予定数は6,000万人で、令和元年より12%増えた。10月1日から早めの接種を受けるように、神戸市保健所が周知できているか。そして広報が徹底すると、10月中に集中してしまい、その場合に満遍なく予防接種が行き渡るのかどうか危惧されるが、その辺りはいかがか。

【答弁】 花田健康局長

量の確保については、地域に偏在がないような取組がされており、国でも供給量を例年より7%増やし、過去最大と聞いているので大丈夫だと考える。

【答弁】 樋口健康局担当部長

ポスター、チラシで大々的に広報を行う。予防接種をしていただく医療機関が約1,500か所あり、婦人会約100か所、老人会400か所強に周知し、各区役所またデジタルサイネージや広報紙KOBE、交通広告、駅貼りという形で行う。

障がい者施設に勤務する職員のPCR検査について

【質問】 植中雅子

特別養護老人ホームなど要介護が高い順から積極的なPCR検査を最優先していくということだが、障がい者施設に勤務する職員についてもPCR検査を実施すべきと考えるがいかがか。

【答弁】 花田健康局長

特別養護老人ホームと同様の考え方で、直接介護に当たっている方、処遇されている職員の方、新規入所者については、積極的に検査を行う方向で既に福祉局と検討を始めている。

➡ **障がい者入所施設も全員PCR検査を実施**

【要望】 植中雅子

介護現場での一定の人材の確保が課題となっている。ノーリフトや介護ロボット等を活用した介護も有力な手段で、これらの導入に際して補助制度を創設するなど、福祉局との連携をお願いしたい。

② 神出病院への対応について

【質問】 植中雅子

兵庫県精神福祉家族連合会など6団体からは、外部専門家による第三者委員会の設置を含めて、真相の究明及び再発防止のための適切な措置を取るよう要請書が神戸市長宛てに提出された。神戸市だけではなく国・県と連携してこの対策に取り組んでいただきたい。



【答弁】 花田健康局長

神出病院については、現行の法律の中で一番厳しい改善命令を行った。具体的な改善策として、第三者委員会を考えたい。

【再質問】 植中雅子

今回の件は、あまりにも患者を軽視しており、またそれが職員の間にも広がっている。神出病院以外の精神科病院についても、改善と対策も併せてチェック機能を実施していただきたい。

そして退院後に必要な医療対応、就労支援等の支援を受けられる環境の整備が重要であると考えているが、どのような取組を行っているのか。

【答弁】 伊地知健康局担当局長

精神障がい者の方々について、地域包括ケアシステムの構築を行っている。今後は、いろいろな機関が集まって個々の事例、全体的な課題を評価し、いかに長期入院をなくしていくかということに精神保健福祉センター、保健所、区役所が一体となって取り組んでいきたい。

この他にも、新型コロナウイルス感染症神戸モデルについて、風評被害対策について、そして肝炎対策についても質疑いたしました。

福祉局への質疑

① 敬老・福祉パスの見直しについて

【質問】 植中雅子

令和元年12月に、本制度維持のために福祉全体の向上に資する制度改正やコミュニティバスなど、近距離公共交通機関を対象とするなど、11項目に及ぶ要望書を提出しており、一定の懸念の改善を要望してきた。制度の見直しはやむを得ないとしても、高齢者の社会参加を衰退させないような取組が必要であると考えている。現在、その要望に対する検討状況はどうなっているか。

【答弁】 上田福祉局副局長

敬老パスに限らず、フレイル予防、介護予防などで様々な角度から社会参加のための基盤整備を行っており、特に今年度からは、高齢者の集える場の支援をしている。ボランティア活動に対してポイントを付与するKOBEシニア元気ポイントを令和2年10月1日から既に実施している。

本市としても近距離輸送のバスが基本であるという考えから、地域コミュニティ交通も含めた市内を走る全てのバスが対象となることが望ましいと考える。

【再質問】 植中雅子

神戸電鉄の路線は、バス路線も不十分で、バスによる社会参加は現実的には非常に難しい状況である。神戸電鉄に敬老パス・福祉パスの適用をお願いできないか。

【答弁】 上田福祉局副局長

有識者会議においては、まずはバス路線を基本としている。神戸電鉄も含めた支援については、社会参加の促進ではなく、高齢者の足の確保ということからもシーパスイオンを所管している都市局などと、他の局とも連携しながら、全市民的な視点での検討が必要ではないかと考える。

② 障がい者の種別特性に応じた住まいの確保について

【質問】 植中雅子

親亡き後にも引き続き地域で生活していく上では、身体、知的、精神の障がい特性に配慮した住まいの確保が重要と考えられる。どのように整備していく考えか。

【答弁】 小林福祉局副局長

障がい者が施設や病院から円滑に地域へ移行し、自立した暮らしを送ることができるよう、地域移行を支援している。現在の神戸市障がい者保健福祉計画2020において、グループホームについては令和2年度までに定員850人の整備を設定し、令和2年4月現在、168住居、定員810人まで来ている。

今後は、次期障がい者保健福祉計画の策定に取り組んでいく中で、関係団体の皆様のご意見もお聞きしながら、前計画に引き続き、グループホームの定員確保について数値目標を定めていく。



③ 生活困窮者の支援について

【質問】 植中雅子

新型コロナウイルスの感染拡大で、母子家庭の18%が食事回数を減らすなど、生活状況が厳しいといった報道がされており、包括的な支援が必要と考えられる。コロナ禍において困窮する市民に対してどのような支援を行うのか。

【答弁】 森下福祉局長

生活福祉資金や住居確保給付金など、一時的な支援が先行しているが、長期化するコロナ禍の影響は乗り切っていけないので、就業支援も非常に大事だと考えている。

くらし支援窓口について、現在もこれまでと同様に個別支援プランの作成をしていく形に対応し、またハローワークの常設窓口、ワークサポート等を活用し、身近なところで求職に対する助言ができる環境も整えている。庁内の関係部局や兵庫労働局と十分に連携しながら、母子世帯を初めとする生活困窮者全体に対してきめ細やかな支援を実施していきたい。

【再質問】 植中雅子

新聞記事では、「仕事で平日役所に行けない」、「困窮状態を相談できる時間がない」と記載されている。市には母子世帯も含め困窮者の情報を有していることから、待ちの姿勢ではなく、ハローワークに出向かなくてもよいというようなプッシュ型の支援情報の発信やアウトリーチによる支援の手を差し伸べるべきと考えるがいかがか。

【答弁】 常深福祉局担当部長

プッシュ型の情報発信は、現在求められている形である。今までは、郵送や電話だったが、新たにSNS、ショートメッセージなどいろんなツールの活用を研究し、情報発信に努めていきたい。

この他にも、コロナ禍における障がい者就労支援B型事業所の利用者について、放課後等デイサービス事業者における虐待について、特別養護老人ホームの不適切な運営についても質疑いたしました。

「北区山田町のメガソーラー計画」住民の陳情採択



令和2年12月1日午前10時開会の福祉環境委員会にて、環境局・福祉局・健康局の審査を、委員長として進行させていただきました。

環境局審査では、「北区山田町メガソーラー建設工事について、事業者に誠意ある説明とその対応を促し、住民の理解を得よう指導することを求める陳情」が、審査打ち切りを表明した維新以外の自民・公明・立憲民主・共産・つなぐで、採択されました。

事業者である「神戸山田太陽光発電所合同会社」が41ヘクタールを造成し約12万3千枚の太陽光パネルを設置することにしていますが、142種の希少動植物への影響や森林伐採による土砂災害や水害等が懸念される中、地元住民の口頭陳述で、誠意ある説明会が全くなされていないことから、地元住民の抱える不安や事業者への不信感が述べられました。特に、多くの方に来ていただきたいとの思いで、敢えて山田町外の北区民センターで4回開かれた事前説明会の出席者は、1回目5名(H29.5)・2回目3名(H29.11)・3回目2名(H29.11)・4回目3名(H31.4)であり、また、地元山田町地域福祉センターに於いてたった1回開催された事前説明会には、山田校下自治振興会役員を主とした10名の出席者数でした。「事前説明会の規定はないので合法」との

陳情第73号	
自民	採択
公明	採択
立憲	採択
維新	打ち切り
共産	採択
つなぐ	採択



環境局の回答は、「メガソーラーありき」で既成事実を作るためのものではなかったでしょうか。

協定書第8条に、事業者は説明を誠実に対応するよう記載されており、多数決で「採択」が決定しました。すでに神戸市や兵庫県は許可を出していますが、**賛成派や反対派による山田町民の分断を避けるためにも、誠意ある説明・対応を望みます。**



北区農村地域の学校の魅力化を!

令和元年決算特別委員会(10月3日)で、「児童数が減りつつある農村地域の学校の存続には、特色ある教育を導入して学校の魅力化を図るべき。」と、質疑をいたしました。長田教育長は「統廃合等による適正規模化を図る一方で、農村地域等については地理的要因や学校が地域コミュニティの核となっているなどの地域需要により、小規模校存

続の判断も尊重される必要がある。」と、答弁されました。

そして、里山暮らしの取り組みも踏まえ、令和3年度より、**谷上小・箕谷小学校区在住の児童も山田小学校へ就学できる制度が導入されることになりました。**

また、八多小・中学校は同一敷地に小・中学校の校舎が立地していることから、その立地を活かし神戸市の里山エリアにおける新たな**小・中一貫教育校(9年間)**となり、学校・家庭・地域でつくる八多オリジナルの小中一貫の学習内容が検討される予定です。



八多小学校・中学校



山田小学校



更生保護施設神戸学而園の移転新設への助成措置要望

令和2年9月7日、神戸市議員保護司連盟より久元神戸市長に、兵庫区湊川町10丁目沿道整備街路事業による神戸学而園の移転新設への助成措置をお願いさせていただきました。また、10月20日には神戸学而園と新施設用地の視察をいたしました。



兵庫県内にある3つの更生保護施設のうち、神戸市唯一の施設が定員男子17名の神戸学而園湊川寮であります。保護観察又は更生緊急保護の対象者のうち、住居がない・頼れる人がいない等の理由で、すぐに自立が困難な人に宿泊と食事を提供し、就職援助や生活指導をされています。



再犯防止を目指し多くの更生者を送り出す神戸学而園の存在は重要で、私たち議員保護司はしっかりと支援をさせていただきます。

日の峰3丁目緑道の水路の復旧について

平成30年度の予算特別委員会で、「北区**日の峰3丁目**の畑辻緑道のせせらぎが止まって既に2年以上が経ち、まちの防災・いこいの場となる水路の復旧を多くの住民が望んでいる」と、建設局に要望いたしました。予算要望の結果、**約1,300万円**がその工事費に充てられることになり、令和2年1月15日には請負業者と工事契約がされ、自治会の皆様に第1案及び第2案の工事のお知らせを配布したところ、それぞれの案で施工条例に問題が生じ施行困難となりました。神戸市は、住民の皆様の総意による強い要望を受けて、この工事に至りましたが、**一部住民の反対の声があり、誠に残念ながら中止となりました。**今後は、せせらぎの流水再会を目指して、「**日の峰の環境をよくする会**」の同志と共に、建設局・交通局・商業施設関係へのご理解とご協力を得るよう働きかけて参ります!





神戸市会本会議場

神戸市会議員



岡田ゆうじ



自由民主党神戸市会議員団市政報告

2021. 1

No.31

医療機関の支援

新年、明けましておめでとうございます。健やかに豊かな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が依然猛威を振るっています。新規感染者の急増に伴い、医療機関、医療従事者への負担も増大しています。国は、新型コロナウイルス感染症の重症・中等症患者の診療に係る診療報酬を**通常**の**3倍に増額**し、緊急包括支援交付金により、新型コロナ患者の受入れに係る病床確保・院内感染対策・設備整備への支援、医療従事者への慰労金支給など、医療機関支援を行っています。神戸市においても、**独自にコロナ専用病棟を設置**するなど、可能な限りの全ての方策に取り組んでいます。

しかしながら、**新型コロナ患者を受け入れる医療機関の経営は急速に厳しい状況**となっており、**風評被害による患者減少も伴い、大幅な減収が見込まれています**。国に対し、さらなる抜本的な医療機関支援、医療従事者支援を今後求めていく必要があります。

「静かなマスク会食」をお願いします

会話の際には
マスクを着用しましょう!



また、国による「緊急包括支援交付金」による新型コロナ患者受入れのための空床確保補助が、12月になっても、兵庫県では未だ県から医療機関に交付がなされていないことが報道されました。一刻も争う時に、このような事態が生じることは極めて残念なことです。

県ではなく神戸市が、機動的かつ緊急的な対応を行えるようにするため、**政令指定都市を緊急包括支援交付金の直接交付の対象に追加**するよう、国に引き続き求めて参ります。

新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100 万個
石けんや ハンドソープで 10秒もみ洗い後 流水で 15秒すすぐ	1回	約 0.01% (数百個)
	2回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤、及び一部の洗剤が有効です。

80℃/10分

熱水

食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。火傷に注意してください。

0.05%

塩素系漂白剤
(次亜塩素酸ナトリウム)

濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。ハイター、ブリーチなど。裏面に作り方を表示しています。

※目や肌への影響があり、取り扱いには十分注意が必要です。
※必ず製品の注意事項をご確認ください。
※金属は腐食することがあります。

洗剤

有効な界面活性剤が含まれる「家庭用洗剤」を使って消毒ができます。NITE ウェブサイトで製品リストを公開しています。

[NITE 洗剤リスト](#) 検索



神戸市政報告

兵庫区版

まじめに働く方が、正しく報われる社会。
■編集・発行:自由民主党神戸市会議員団兵庫区第2支部
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846
<http://www.jimin-kobe.com>



自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
兵庫区

守屋隆司

神戸市会決算特別委員会局別審査において、経済観光局に対して質疑を行いました。ウラ面にその概要を掲載しています。ぜひご覧ください。

神戸市の決算

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計(基本的な事業)	8,127億円	8,037億円
特別会計(国保、介護保険、市住等)	6,658億円	6,605億円
企業会計(バス、上下水道等)	2,332億円	2,814億円

令和元年度の一般会計決算は、社会保障関係費が増加した一方で、所得の増加などにもなる個人市民税の増や「神戸市行財政改革2020」に基づく取り組みを進めたことなどから、黒字(13億2100万円)を確保することができました。

神戸市のお金の使い道(決算)をわかりやすく

一般会計の支出を 52.7万円に 市民一人あたりにすると なります。

福祉の充実に 約21.6万円	教育・文化の振興に 約9.1万円	環境・衛生の向上に 約3.6万円
産業の振興に 約0.9万円	住宅・まちづくりに 約1.8万円	道路・公園に 約2.6万円
消防・救急に 約1.4万円	区役所・市役所の 行政の運営などに 約5.7万円	市債の返済に 約6.0万円 債券

新型コロナウイルスの感染リスクが高まる 「5つの場面」に 気をつけよう!!

寒くなり、感染拡大が続いています。今年の冬はいつもと違う初めての冬です。感染リスクの高まる「5つの場面」を中心に、年末年始の感染拡大を防ぐために、引き続きのご協力をお願いします。

- 1 飲酒を伴う懇親会等
- 2 大人数や長時間におよぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり

気の緩みや環境の変化に注意

令和3年度予算案について 久元喜造神戸市長に予算要望を行いました

昨年新型コロナウイルス禍により皆様も大変ご苦労された事とお見舞い申し上げます。年は明けましたが収束が見通せない状況です。お互い3密に十分注意し、この国難を共に乗り越えて行きましょう。さて、自由民主党神戸市会議員団は令和3年度予算について、久元喜造神戸市長に要望書を提出いたしました。私からは、主に下記3点を要望いたしました。



- ①兵庫津を含めた神戸の歴史を正確に伝承啓蒙していくべき。
- ②安心安全な自転車の整備を進められたい。
- ③湊川公園のふわふわドームは絶大な支持を得ている。一層の整備を進められたい。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される本年、コロナに打ち勝ち、希望の光が見える年となる様お祈りいたします。関西広域連合議会議員 神戸市会議員 守屋隆司

令和2年11月12日 菅義偉首相に要望書を提出しました

久元喜造神戸市長と自民党神戸市会議員団は、首相官邸で菅首相と面会。新型コロナウイルス感染症に関する支援迅速化のため、政令市の権限拡大が必要だと指摘し、●「特別自治市」制度の早期法制化●デジタル庁の拠点を神戸に●アフリカ開発会議など国際会議の神戸開催に向けた支援●水素エネルギーの実証実験活用に向けた支援などを要望しました。



統廃合や移転により 使われなくなった学校跡地の利活用

湊山小学校跡→森と緑の複合施設

若い家族を呼び込む目的で公募したプロジェクトにより、森と緑をコンセプトにした複合施設「FORREST CAMPUS」に生まれ変わります。

日程	令和2年11月～	令和3年4月～	令和4年4月～
	解体工事/協議・設計	施設新築工事 リノベーション工事	竣工・オープン

旧夢野中学校→介護医療院の新設

学校に代わる地域拠点が必要な熊野町を含めた、地域全体に親和する新たな地域健康コミュニティステージを目指します。

日程	令和2年10月～	令和3年4月～	令和5年4月～
	解体工事/協議・設計	施設新築工事	竣工・オープン

旧荒田小学校→多世代交流複施設 第2グラウンド跡地利活用事業の優先交渉権者決定

若年世帯の流入を促進させる事業を募集してきましたが、審査の結果、社会福祉法人報恩会が優先交渉権者に決定。多世代交流複合施設を設置することとなりました。今後は、さまざまな事前協議を経て着工～令和5年1月の開設を目指すこととなります。

食中毒の発生、道路や公園遊具の不具合、産業廃棄物や不法投棄 3つの専用コールセンターを開設

<h3>生活衛生ダイヤル</h3> <p>飲食店、理容所など施設の許可の手続き、飼い犬の登録、犬猫の譲渡などの問い合わせ、食中毒疑いや不衛生な施設の通報を受け付けます。</p> <p>078-771-7497 FAX.050-3156-2902</p>	<h3>道路公園110番</h3> <p>道路の不具合や公園の遊具の不備、河川の管理、放置自転車などに関する通報を受け付けます。</p> <p>078-771-7498 FAX.050-3156-2904</p>	<h3>クリーン110番</h3> <p>産業廃棄物や不法投棄・野外焼却についての調査依頼ダイヤルです。必要に応じて現地調査を行い、原因者に指導を行います。</p> <p>078-771-7499 FAX.078-595-6250</p>
---	---	--



令和元年度 決算特別委員会で 局別審査を行いました

経済観光局

令和2年10月6日(火)

1. 市場・商店街の活性化について

■質問: 守屋隆司

新型コロナウイルスの影響により、中央卸売市場の中にも厳しい経営状況にある事業者が多数見受けられます。市場は市民の食卓、生活を支える重要な機能を持ち、その公共性を考慮して、活性化策と支援策の取り組みが今後とも必要であると思います。また、Goto Eat事業と連携した取組等も考えられるのではないかと思います。厳しい経営状況にある市場事業者に対しての支援策をどのように展開しようと考えられているのか、お伺いします。

■答弁: 清水経済観光局中央卸売市場運営本部長

本年、改正卸売市場法の施行に伴い、取引に係る規制が緩和されました。自由度が高まっていることから、本場・東部市場間の連携をさらに進めたいと思っており、本場から東部市場の仲卸が商品を仕入れることを可能とするなど、2市場を一体的に運用したいと考えています。両市場での卸・仲卸を含めた取引をさらに活発なものにして、品ぞろえの充実、集荷量の拡大につなげてまいりたいと考えています。また、施設整備の機能強化に取り組む必要もあります。

国が進めるGotoEat事業と連携し、消費の拡大につなげるためにどのような取組ができるのか、場内事業者と協議を行ってまいりたい。

■質問: 守屋隆司

イオンの開業延期に伴う1億5,300万の承認料も、この際、有効に使っていくことが重要じゃないかと思う。本部長はどうお思いですか。

■答弁: 清水経済観光局中央卸売市場運営本部長

その用途につきましては、これから取りかかる本場の施設整備への充当中心に、活用してまいりたいと考えています。

2. キッチンカーの支援について

■質問: 守屋隆司

食ビジネスのスタート支援として、39歳以下を対象に、キッチンカー車両の改修費補助や出店場所の紹介、経営ノウハウの提供を行っていますが、今後、このキッチンカーを置く場所の確保が商売の優劣に非常に大きな課題になると思います。

今回、市の関連施設等への出店場所の紹介を行っていくということですが、これは大変重要なことでありまして、キッチンカー事業全体を盛り上げていくためにも、対象者を拡大するべきと思います。

■答弁: 西尾経済観光局長

若手起業家支援施策として、若者の将来的な神戸への定着につなげたいという考えに基づいて、キッチンカー事業を実施してきました。一方、新型コロナウイルスの影響もあり、既存店舗の方々も含めて注目が集まっており、支援対象者要件の見直しも含め、検討してまいりたい。

出店場所につきまして、今年度は東遊園地とポーアイの2か所で、実証事業という形で新たな出店場所を提供する試みをさせていただきました。今後も出店場所開拓の中で、キッチンカー事業の盛り上がりというのを促す上でも、検討させていただきます。

■質問: 守屋隆司

三宮再開発で、JRの三ノ宮駅ビル解体がほとんど終わった後、事業が凍結された。そこにキッチンカーが置ける部分を開拓するという



ことについて、いかがお考えでしょうか。以前見た完成後のイメージイラストには、キッチンカーがいっぱい描かれていた。もともとの計画なんだからいいと思うのだが。

■答弁: 西尾経済観光局長

安全面確保の問題。もう1点は、近隣事業者の方々との調整があって、場所の確保は成立するという御理解いただければと思います。

3. 須磨海浜水族園の再整備について

■質問: 守屋隆司

令和5年末オープンに向けて、今年度末には本館以外の建物が閉館となり、解体が始まると聞いています。大きな経済効果も期待できませんし、市民も期待をされていると思います。進捗状況について教えていただきたい。



■答弁: 西尾経済観光局長

民設民営方式という形で再整備を行っています。コロナウイルス感染症の影響による事業方針、計画変更等は無く、事業が進んでいる状況です。

■質問: 守屋隆司

メインはシャチだけではありませんけれども、この建物はできたが、売り出しているシャチが来なかったという場合、大変なことになるのでは、その辺のことは大丈夫でしょうか。

■答弁: 安岡経済観光局観光MICE担当部長

シャチにつきましては、新しい水族園ができるときの目玉、人気の生き物かというふうを考えています。鴨川シーワールドからどの個体を持ってくるかというところまではまだ決まっていませんが、「事業計画に変更はない」ということで、シャチをしっかりと連れてこれると考えています。



4. 消費生活相談について

■質問: 守屋隆司

新型コロナウイルスの影響に伴う巣籠もり需要により、テレビショッピングやネット通販による買物が増加し、それに伴ってトラブルも多発していると報道されています。しっかりとした消費生活相談の体制が大事だと思いますが、これは神戸市だけの問題ではなく、他都市、国ともに対応を協議して、市民、消費者を守っていくということが大事だと思います。この点についても、現在の状況等についてお伺いしたいと思います。

■答弁: 豊永経済観光局副局長

低価格でお試しができるという広告で、1回だけのつもりで申込みをしたが、実は定期購入の契約になっていて、高額な請求が届いた。というような、定期購入関連の相談件数が年々増加しています。平成27年度103件であったものが、令和元年度698件。6.8倍という増加となっています。

また、中高年層だけではなく、若年層においても急増しているという状況です。未然防止を図るための教育・啓発が最も重要だと考えており、市の教育委員会と連携して、高等学校における夏休みの課題として、啓発動画などを共有サイトに掲載し、生徒が学習する取り組みを行っています。

国民生活センターや他都市などと情報共有を図りながら、進めていきたいと考えています。

■質問: 守屋隆司

消費者を助けるという気持ちから言うと、そのような問題のある業者に消費者はなかなか勝てないので、できるかぎりの手段を講じるべきと思うのですが、どうでしょうか。

■答弁: 豊永経済観光局副局長

法令にのっとって指導するという権限もありますので、法令違反があれば、神戸市民の方がそういう被害に遭われたら、他都市の事業者であっても、当然指導をするというスタンスです。

消費者庁のほうで定期購入契約に関して法改正を検討しているという報道もありました。他都市とも連携し国に要望活動を行いたい。



神戸市
消費生活センター
Tel.078-371-1221

KOBE
消費生活情報
電子メール相談

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 守屋隆司 事務所
兵庫区 守屋 隆司

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町1-7-12中山ビル1F
TEL:078-512-5722 FAX:078-512-5723 <http://www.jimin-kobe.com>

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。



市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会